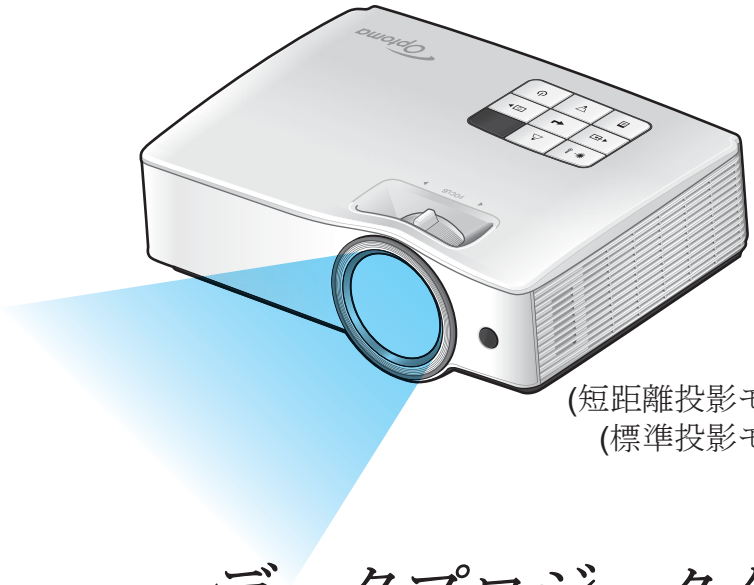
Optoma®



(短距離投影モデル)
(標準投影モデル)

データプロジェクター
ユーザーズマニュアル

目次

使用上のご注意 3
安全に関する情報 11
目の安全に関する警告.....12
安全上のご注意.....12
製品の特長.....14

はじめに 15
パッケージの内容.....15
製品の各部名称.....16
製品の各部名称.....16
コネクタの外観.....17
コントロールパネル 18
リモコン 19

プロジェクターの接続.....21
コンピュータ / ノート パソコンへの接続 21
メモリドライブへの接続 22
ネットワークへの接続.....23
ビデオソースへの接続.....24

プロジェクターの使用.....25
プロジェクターの電源オン/オフ .25
プロジェクターの電源を入れる ...25
プロジェクターの電源を切る 26
警告インジケータ 26
投射画像の調整.....27
プロジェクターの高さを調整する.....27
チルト調整リング.....28
投射画像サイズと投射距離.....28
画像の投影.....30
入力ソースの切り替え.....30
入力ソースの更新.....30

設定の調節 31
オンスクリーンディスプレイメニュー.....31
操作方法 31
メニュー ツリー(階層).....32
イメージ.....35
イメージ | 詳細 37
ディスプレー 39
ディスプレー | 3D.....42
設定.....43
設定 | 詳細設定 45
設定 | 信号 46
設定 |セキュリティ 47
設定 | ネットワーク 49
オプション.....51
オプション | 詳細.....53

付録 54
RS232 コマンドとプロトコル機能リスト 54
RS232ピン割り当て 54
RS232プロトコル機能リスト.....55
シーリングマウントのインストール.....59
Optoma 社お問い合わせ先 60
規制と安全に関する通知 62
クラス1レーザー製品 63

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

使用上のご注意

注意 ⚠

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてください。

使用上のご注意

厳守	長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。
禁止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
禁止	指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
厳守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極とー極があります。）故障の原因となります。
注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

使用上のご注意

警告 ⚠

厳守

煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。

水濡れ禁止

本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

厳守

本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。

禁止

本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

禁止

本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。
火災の原因となることがあります。

厳守

温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

分解禁止

改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。

禁止

本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。
特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。

禁止

ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。
レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

禁止

リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。
目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスⅡレーザーが装備されています。

禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
- 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるところ
- 温度差の激しいところ
- 水分や湿気の多いところ
- 温度が高いところ

禁止

使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。

厳守

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。

禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。

厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

使用上のご注意

禁止

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。

厳守

電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

厳守

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。

厳守

液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

注意

発火注意

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。

厳守

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

使用上のご注意

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約２，０００時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows VISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあ

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な 電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class B デジタル装置に関する制限

この Class B デジタル機器は、カナダ障害原因装置規制のすべての要件を満たしています。

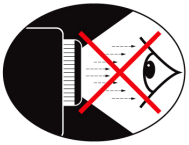
安全に関する大切な指示

1. 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、飲み物等を置いたままのコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクターは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
6. 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。

   物理的な破損/乱用は、次のような場合をいいます (但し、これは一部の例です)。
   - ❒ 装置を落下した。
   - ❒ 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
   - ❒ プロジェクターに液体をこぼした。
   - ❒ プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
   - ❒ プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

   お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
7. プロジェクター内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
10. 当製品は、表示装置の作業場所での使用には適していません。
11. この装置は、直接観賞の設置はできません。

目の安全に関する警告



- 常にプロジェクターの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接向くことは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクターを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。

安全上のご注意

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

- 警告- 電源がオンの状態で、プロジェクターのレンズをのぞき込まないでください。高輝度の光が目に損傷を与える危険があります。
- 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 警告- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- 警告- プロジェクターの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。
- 警告- ランプの寿命が近づいている場合、メッセージ「ランプ警告：ランプの寿命が切れます。」がスクリーンに表示されます。ランプの交換についてなるべく早く、地元の販売店またはサービスセンターにご連絡ください。
- 警告- リモコンのレーザーポインタをのぞき込んだり、他の

NOTE

- ランプの製品寿命が切れると、ランプモジュールが交換されるまで、プロジェクターの電源はオンにできません。

推奨事項 :

- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項 :

- 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - 室温が 5~40°C の範囲に保たれていることを確認します。
    - 相対湿度は5~40°C、80% (最大)で、結露のない環境で使用します。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

製品の特長

- XGA (1024 x 768)ネーティブ解像度/
  WXGA (1280 x 800)ネーティブ解像度
- HD 対応 – 1080p サポート
- VGA モニタ ループスルー
  (スタンドバイ モード時 > 0.5W)
- BrilliantColorTM テクノロジ
- セキュリティ バーとケンジントン ロック
- RS232 コントロール
- インスタントオン/オフ
- 内蔵スピーカー
- インスタントオン/オフ
- 3D画像投影のサポート
- 水銀不使用ハイブリッド光源
- コンピュータ不要のUSBメモリまたはメモリカードリーダー(短距離投影モデルのみ)
- MobiShowからのワイヤレス投影サポート(短距離投影モデルのみ)
- ネットワーク制御(有線またはワイヤレスLAN経由) (短距離投影モデルのみ)
- ネットワーク表示(有線またはワイヤレスLAN経由) (短距離投影モデルのみ)

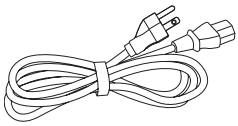
NOTE

❖ モニターループスルーは、VGA-Inでのみサポートされます。

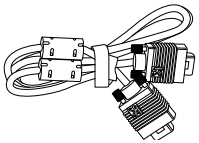
パッケージの内容

お買い上げいただいた製品の入っていた箱を開けて、中身をよく確認し、以下の付属品がすべて入っているかどうかお確かめください。万一、不足品がある場合は、お近くのカスタマー サービス センターにご連絡ください。

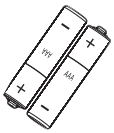
プロジェクター



電源コード

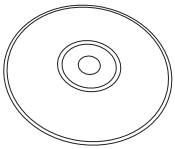


VGA ケーブル



単 3 電池 (2本)

IR リモコン



ユーザーマニュアル付きCD

❖ 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

文書：

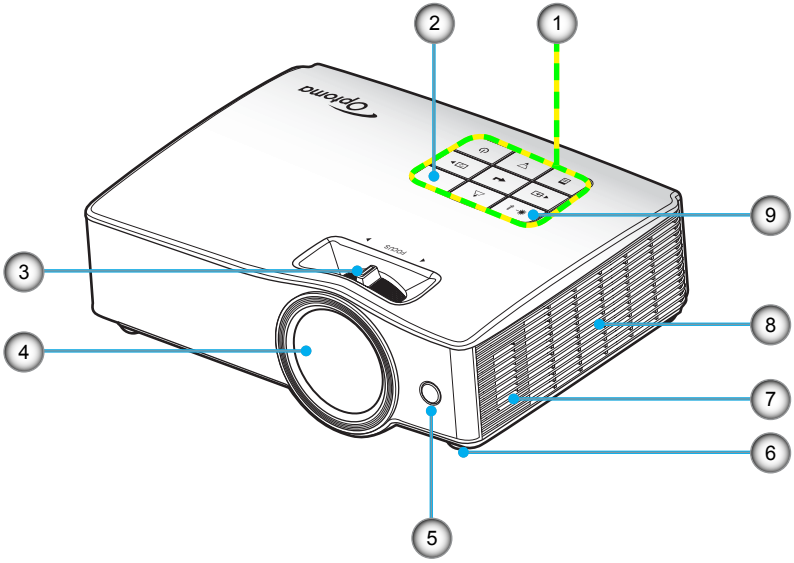
- ☑ ユーザーズマニュアル
- ☑ 保証書
- ☑ クイック スタート カード
- ☑ WEEE カード (EMEA 専用)

電源コードについて注意事項：

1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様(AC100V)になりますので、海外での使用できません。

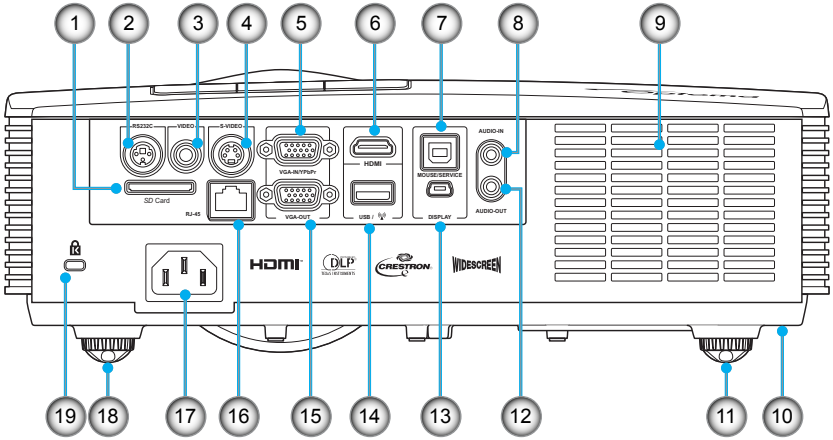
製品の各部名称

製品の各部名称



1. コントロールパネル
2. コントロールパネル
3. フォーカスリング
4. レンズ
5. コントロールパネル
6. チルト調整フット
7. スピーカー
8. 通気口
9. LEDインジケータ

コネクタの外観



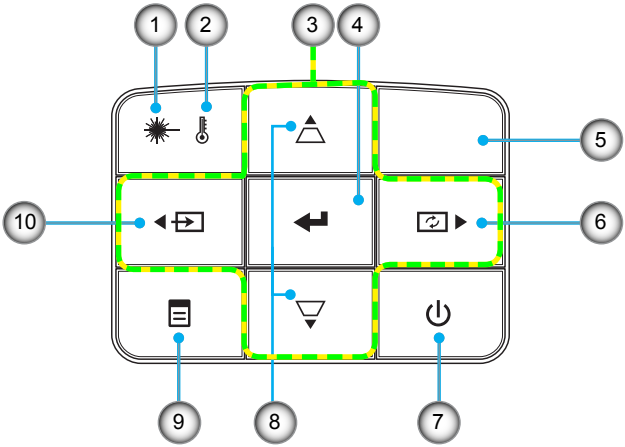
1. SDカードスロット*
2. RS-232コネクタ(3ピンDINタイプ)
3. コンポジットビデオ入力端子
4. Sビデオ入力端子
5. VGA入力/YPbPr端子
   (PCアナログ信号/コンポーネントビデオ入力/HDTV/YPbPr用)
6. HDMI入力端子
7. リモートマウスおよびファームウェア更新用USB Type Bポート
8. 音声入力端子(3.5 mmミニジャック)
9. 通気口
10. セキュリティバー
11. チルト調整フット
12. 音声出力端子(3.5 mmミニジャック)
13. Mini USBポート*
14. ワイヤレスドングル&サムドライブ用USB*
15. VGA出力端子(モニタループスルー出力)
16. RJ-45ネットワークコネクタ*
17. 電源ソケット
18. チルト調整フット
19. Kensington™ロックポート

NOTE

❖ モニタループスルーは、VGA-Inでのみサポートされます。

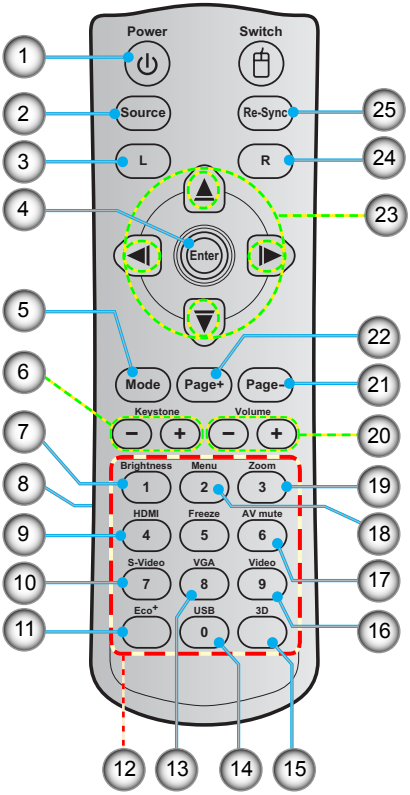
* 短距離投影モデルのみ

コントロールパネル



コントロールパネルの使用			
1	ランプLED		プロジェクターランプの状態を表示します。
2	温度インジケータLED		プロジェクターランプの状態を表示します。
3	4方向選択キー		▲▼◀▶を使って項目を選択、または選択に対する調節を行います。
4	エンター		項目の選択を確定します。
5	赤外線レシーバー		リモコンの信号を受信します。
6	再同期		自動的にプロジェクターを入力ソースに同期させます。
7	電源/スタンバイLED		押すとプロジェクターがオン・オフされます(17ページ「プロジェクター電源のオン/オフ」を参照)。プロジェクターの電源状態が表示されます。
8	キーストン		を使って、プロジェクター傾斜(± 40度)による画像の歪みを調整します。
9	メニュー		押すとオン・スクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューが表示されます。もう一度キーを押すと、OSDを終了します。
10	ソース		押すと入力信号が選択できます。

リモコン



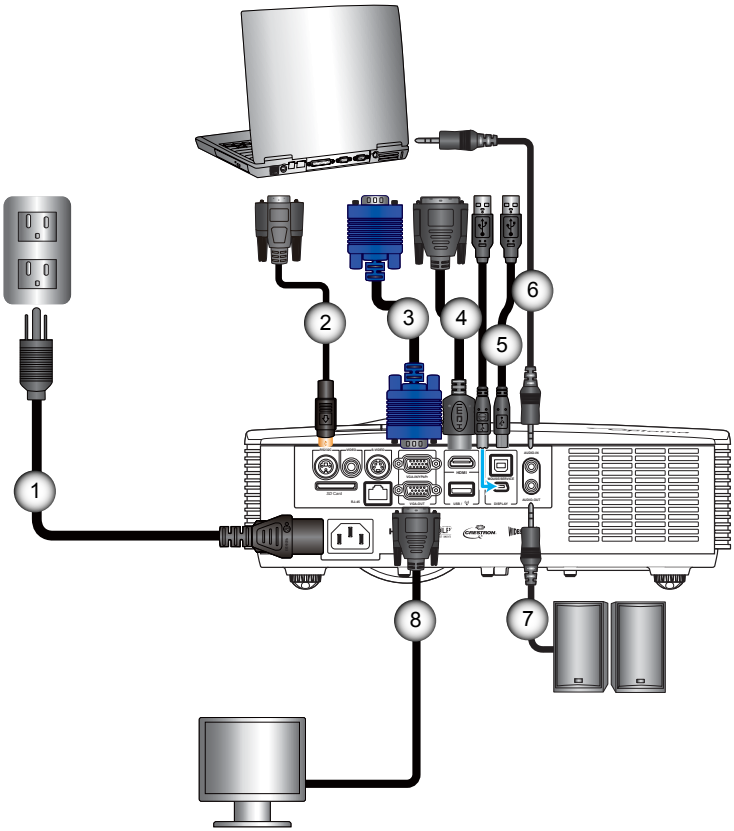
リモコンのボタン

1	**電源**	22-23ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
2	**ソース**	**ソース**を押して入力信号を選択します。
3	**L ボタン**	マウスの左クリック。
4	**入力する**	選択した項目を確定します。
5	**モードレーザー** (ボタンはモデルによって異なります)	レーザー装備バージョン：押すとレーザーポインタが使用できます。 レーザー未装備バージョン：**モード**を押すと、モードが変更されます。

6	キーストーン +/-	プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
7	輝度	画像の輝度を調整します。
8	フリーズ	スクリーン画像を一時停止させます。 このボタンを再度押すと、ロック解除されます。
9	HDMI	HDMIをソースとして選択します。
10	S-ビデオ	S-Videoをソースとして選択します。
11	Eco+	輝度モードメニューをオン/オフします
12	数字キー	キーを押して数字を入力します。
13	VGA	VGAをソースとして選択します。
14	USB	USBフレッシュドライブをソースとして選択します。
15	3D	3D OSDメニューをオン/オフします。
16	ビデオ	コンポジットビデオをソースとして選択します。
17	AV消音	オーディオと映像を一時的にミュートします。AV消音が有効になると、輝度は節電のため10%まで自動的に減少します。
18	メニュー	オン・スクリーン・ディスプレイ(OSD)メニューを起動します。OSDを終了すするには、「メニュー」を再度押します。
19	ズーム	投影されるスクリーンを拡大または縮小します。
20	音量+/-	音量を増減します。
21	ページ -	このボタンでページを戻します。
22	ページ +	このボタンでページを進めます。
23	*4方向キー	▲ ▼ ◀ ▶を使って項目を選び、選択項目に対する調整を行い、またはUSB経由でマウスのエミュレーションを行います。
24	右ボタン	マウス右クリック。
25	再同期	自動的にプロジェクターを入力ソースに同期させます。

* PCとプロジェクターをUSB type Bポート経由で接続する場合、4方向キーは自動的にマウスエミュレーション機能に切り替わります。ただし、OSDメニューが起動されると、4方向キーは自動的に機能選択に戻ります。

コンピュータ / ノート パソコンへの接続

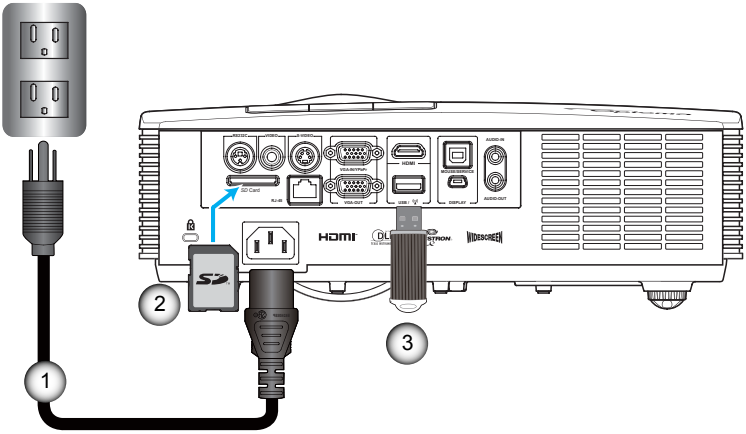


- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションのアクセサリ

1. 電源コード
2. RS232ケーブル*
3. VGAケーブル
4. HDMIケーブル*
5. USB Type Bケーブル*
6. 音声入力ケーブル*
7. 音声出力ケーブル*
8. VGA出力ケーブル*

メモリドライブへの接続

(短距離投影モデルのみ)

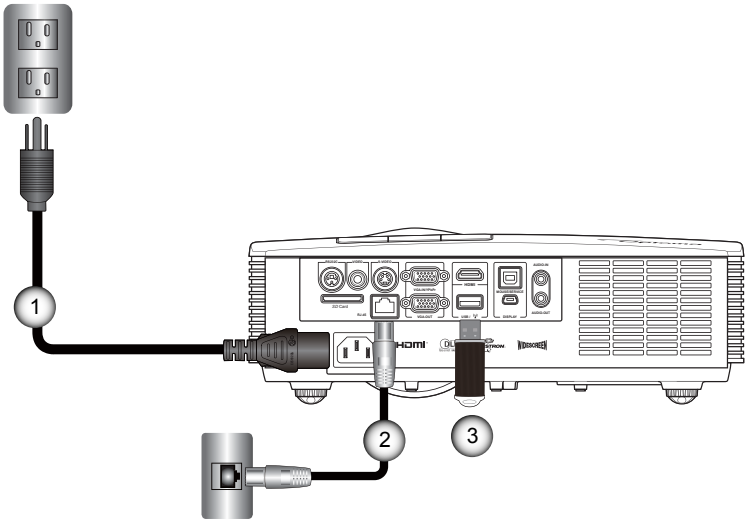


❖ (*) オプション・アクセサリ

1. 電源コード
2. SDカード*
3. USBフラッシュドライブ*

ネットワークへの接続

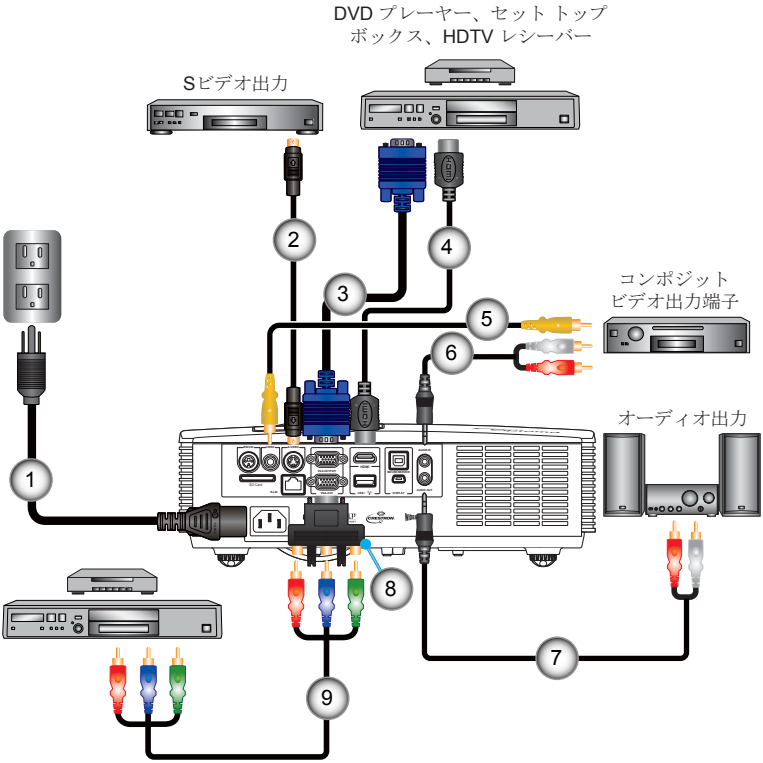
(短距離投影モデルのみ)



1. 電源コード
2. ネットワークケーブル*
3. Wi-Fiドングル* (ワイヤレスネットワーク機能用)

❖ (*) オプション・アクセサリ

ビデオソースへの接続



NOTE

- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションのアクセサリ

1. 電源コード
2. Sビデオケーブル*
3. VGAケーブル
4. HDMIケーブル
5. コンポジットビデオケーブル*
6. 音声ケーブル/RCA*
7. 音声ケーブル/RCA*
8. 15ピン-3 RCAコンポーネント/HDTVアダプタ*
9. 3 RCAコンポーネントケーブル*

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. 電源コードをプロジェクターおよび電源に接続します。接続されると、POWER/STANDBY LEDがオレンジに点灯します。
2. コントロールパネルまたはリモコンの⏻を押します。POWER/STANDBY LEDが青く点灯します。

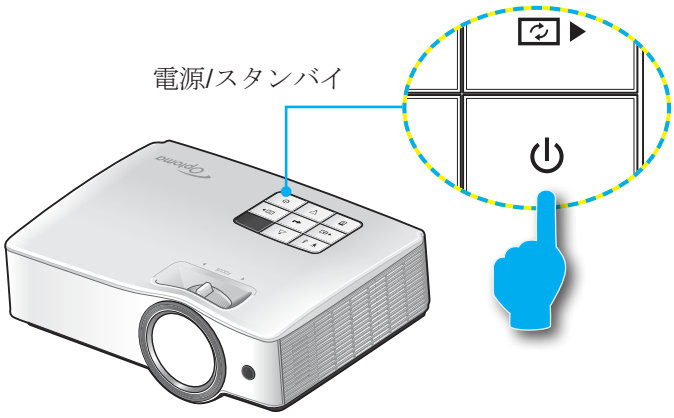
   起動画面が約3秒間表示されます。プロジェクターを初めて使用される場合、使用言語および節電モードの設定について確認が求められます。
3. スクリーンに表示したいソース(コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤーなど)の電源を入れ、信号を接続します。プロジェクターはソースを自動的に検出します。
4. 複数のソースが同時に接続されている場合、コントロールパネルの◀⏎またはリモコンのソース指定キーを押して入力を切り替えます。

NOTE

- 電源モード(スタンバイ)がエコ (> 0.5 W)に設定され、プロジェクターがスタンバイモードに入ると、VGA出力、オーディオ信号中継およびRJ45は無効となります。

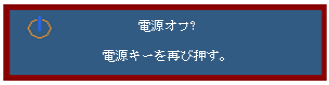
NOTE

- プロジェクターが自動的にソースを検出しない場合、コントロールパネルの☰またはリモコンの**Menu**ボタンを押します。「OPTIONS」にアクセスし「ソースのロック」を「オフ」にします。



プロジェクターの電源を切る

1. コントロールパネルまたはリモコンの⏻を押すと、プロジェクターの電源がオフになります。以下のメッセージがスクリーンに表示されます。



2. ⏻を再度押して確定します。プロジェクターはスタンバイモードに入り、POWER/STANDBY LEDがオレンジに点灯します。

   プロジェクターの電源をオンにするには、⏻を押すとプロジェクターが再起動します。

3. プロジェクターを完全にオフにするには、コンセントから電源コードを抜いてください。

❖ 「電源オフ」メッセージは、15秒間ボタン操作をしないと表示が消えます。

警告インジケータ

以下の場合は、警告インジケータが点灯してからプロジェクターは自動的にオフになります。

- ❖ 「ランプ」LEDインジケータがオレンジに点灯し、「POWER/STANDBY」インジケータが赤く点滅します。
- ❖ 「TEMP」LEDインジケータが黄緑に点灯し、「POWER/STANDBY」インジケータが赤く点滅します。これはプロジェクターが過熱状態になっていることを表します。通常の状況では、プロジェクターを再度オンすることができます。
- ❖ 「TEMP」LEDインジケータが黄緑に点滅し、「POWER/STANDBY」インジケータが赤く点滅します。

プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。 警告インジケータが再び点灯したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

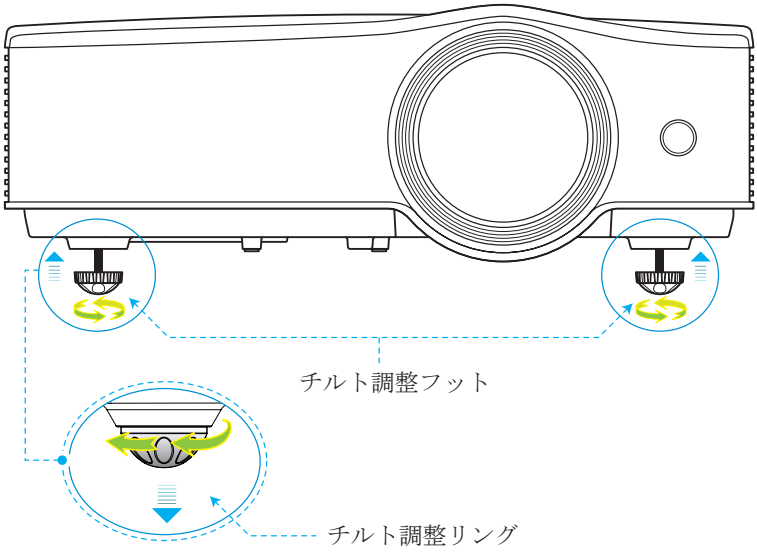
❖ プロジェクターにこれらの現象が現われた場合は、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。詳細はトラブルシューティングをご参照ください。

投射画像の調整

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

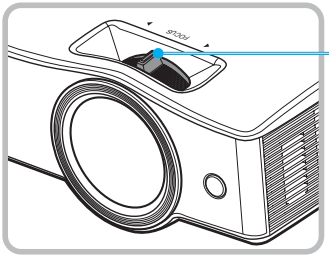
1. プロジェクターの底面にある、チルト調整フットを 探します。
2. 調整可能リングを右に回すとプロジェクタが持ち上がり、左に回すと下がります。必要に応じて、残りのフットにも繰り返します。



チルト調整リング

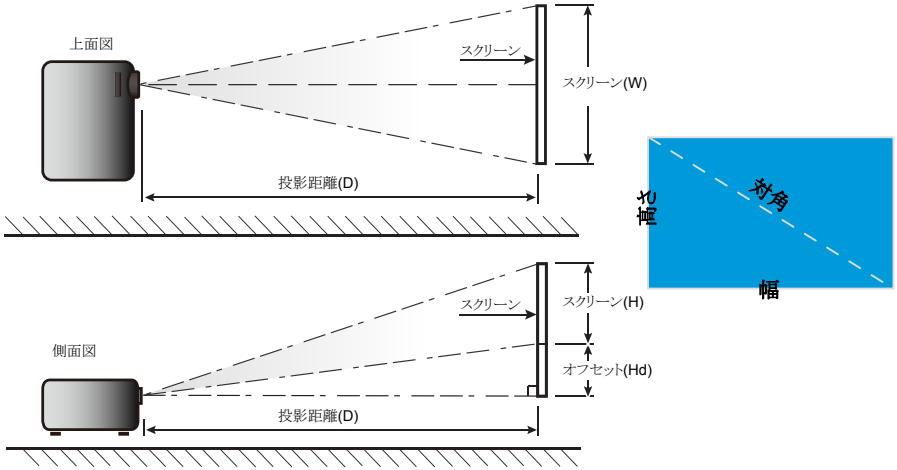
映像にフォーカスを合わせるには、明瞭な映像になるまでフォーカスリングを回します。

- XGAシリーズ：このプロジェクターのフォーカス合わせの距離は1.64 ~ 8.2フィート(0.5 ~ 2.5 m)の範囲です。
- WXGAシリーズ：このプロジェクターのフォーカス合わせの距離は1.64 ~ 8.2フィート(0.5 ~ 2.5 m)の範囲です。



投射画像サイズと投射距離

- XGAシリーズ：映像のサイズは39.3インチ~ 196.5インチ(1.0 m ~ 4.99 m)の範囲で調整可能です。
- WXGAシリーズ：映像のサイズは44.6インチ~ 222.8インチ(1.1 m ~5.66 m)の範囲で調整可能です。



XGA

4:3スクリーンの対角線長(インチ)サイズ	スクリーンサイズ幅x高さ				投影距離(D)				オフセット(Hd)	
	(m)		(インチ)		(m)		(feet)			
	幅	高さ	幅	高さ	Wide端	Tele端	Wide端	Tele端	(m)	(feet)
40.00	0.81	0.61	31.89	24.02	0.50	0.50	1.64	1.64	0.09	0.30
60.00	1.22	0.91	48.03	35.83	0.80	0.80	2.62	2.62	0.14	0.45
70.00	1.42	1.07	55.91	42.13	0.90	0.90	2.95	2.95	0.16	0.53
80.00	1.63	1.22	64.17	48.03	1.00	1.00	3.28	3.28	0.18	0.60
90.00	1.83	1.37	72.05	53.94	1.10	1.10	3.61	3.61	0.21	0.67
100.00	2.03	1.52	79.92	59.84	1.30	1.30	4.26	4.26	0.23	0.75
120.00	2.44	1.83	96.06	72.05	1.50	1.50	4.92	4.92	0.27	0.90
150.00	3.05	2.29	120.08	90.16	1.90	1.90	6.23	6.23	0.34	1.13
180.00	3.66	2.74	144.09	107.87	2.30	2.30	7.54	7.54	0.41	1.35
250.00	5.08	3.81	200.00	150.00	3.20	3.20	10.50	10.50	0.57	1.87
300.00	6.10	4.57	240.16	179.92	3.66	3.66	12.01	12.01	0.69	2.25

❖ 図は、ユーザーの参考用の目安です。

WXGA

16:10スクリーンの対角線長(インチ)サイズ	スクリーンサイズ幅x高さ				投影距離(D)				オフセット(Hd)	
	(m)		(インチ)		(m)		(feet)			
	幅	高さ	幅	高さ	Wide端	Tele端	Wide端	Tele端	(m)	(feet)
40.00	0.86	0.54	33.86	21.26	0.40	0.40	1.31	1.31	0.07	0.22
60.00	1.29	0.81	50.79	31.89	0.70	0.70	2.30	2.30	0.10	0.33
70.00	1.51	0.94	59.45	37.01	0.80	0.80	2.62	2.62	0.12	0.38
80.00	1.72	1.08	67.72	42.52	0.90	0.90	2.95	2.95	0.13	0.44
90.00	1.94	1.21	76.38	47.64	1.00	1.00	3.28	3.28	0.15	0.49
100.00	2.15	1.35	84.65	53.15	1.10	1.10	3.61	3.61	0.17	0.55
120.00	2.58	1.62	101.57	63.78	1.30	1.30	4.26	4.26	0.20	0.66
150.00	3.23	2.02	127.17	79.53	1.70	1.70	5.58	5.58	0.25	0.82
180.00	3.88	2.42	152.76	95.28	2.00	2.00	6.56	6.56	0.30	0.98
250.00	5.38	3.37	211.81	132.68	2.80	2.80	9.18	9.18	0.42	1.37
300.00	6.46	4.04	254.33	159.05	3.36	3.36	11.03	11.03	0.50	1.64

❖ 図は、ユーザーの参考用の目安です。

画像の投影

プロジェクターがオンになると、接続されたデバイスを自動検出します。

一旦デバイスが検出されると、プロジェクターは入力ソースの画像または以下のようなメニューを投影します。

- **ネットワーク表示：**ローカルエリア・ネットワークまたは無線ネットワークが検出された場合(23ページの「ネットワークに接続する」を参照)。
- **USB表示：**コンピュータがプロジェクターのミニUSBポート経由で接続された場合(詳細機能マニュアルの「USB表示モード」を参照)。
- **メモリドライブ表示：**フラッシュドライブまたはSDカードが検出された場合(詳細機能マニュアルの「メモリドライブ表示」を参照)。

(ネットワーク表示、USB表示およびメモリドライブ表示は、短距離投影モデルのみ利用可能)

NOTE

- 入力ソースメニューで選ばれる入力ソースは、プロジェクターで自動検出されるソースです。
- 自動検出の対象となる入力ソースの数は、プロジェクターが検出を終えるまでの時間に影響を及ぼす可能性があります。

入力ソースの切り替え

必要な入力ソースが自動検出機能に含まれない(入力ソースメニューを参照)、あるいは複数の入力ソースデバイスが接続されている場合、以下のうちの1つを行うことで入力ソースを手動で変更できます。

- リモコンの入力ソース指定キーを押す。
- コントロールパネルの◀ を繰り返し押して、オプション項目をスクロールする。
- リモコンの**ソース**キーを繰り返し押して、オプション項目をスクロールする。

入力ソースの更新

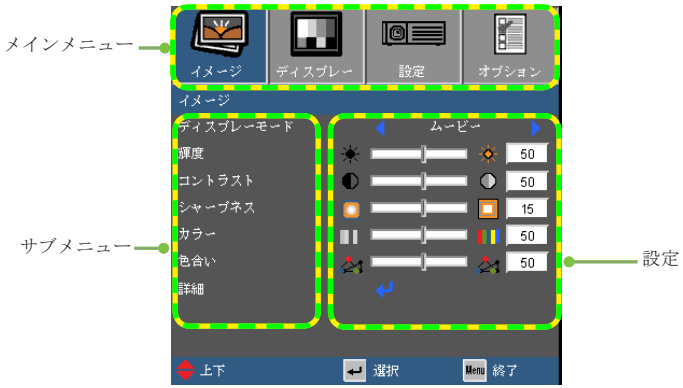
プロジェクターが動作中に新たなソースが接続された場合、コントロールパネルの ▶またはリモコンの**Re-Sync (再同期)**キーを押して、プロジェクターを更新、入力ソースと同期させます。

オンスクリーンディスプレイメニュー

プロジェクターには多言語オン・スクリーン・ディスプレイメニューがあり、画像の調整やプロジェクター設定の変更が可能です。

操作方法

1. OSDメニューを起動するには、コントロールパネルの☰またはリモコンの**Menu (メニュー)**を押します。
2. OSDメニューが表示されたら、メインメニューの項目を◀▶キーで選びます。
3. メニュー項目がハイライト表示されたら、↵または**Enter**を押すとサブメニューが表示されます。
4. ▲ ▼キーを使って必要な項目を選び、◀▶キーを使って設定を調節します。
5. ↵または**Enter**で確定します。画面はメインメニューに戻ります。
6. 表示を終了するには☰または**Menu**を再度押します。OSDメニューが閉じてプロジェクターは新たな設定を自動保存します。



メニュー ツリー(階層)

Main Menu	Sub Menu		Settings
イメージ	ディスプレー		Presentation / 明るい / フィルム / sRGB / ブラックボード / クラスルーム / ユーザー / 3D
	輝度		-50~50
	コントラスト		-50~50
	シャープネス		1~15
	[1] カラー		-50~50
	[1] 色合い		-50~50
	詳細	Gamma	映画 / ビデオ / グラフィック / PC
		BrilliantColor™	0~10 *註：Movie/sRGBモードではBrilliantColor™は無効となり、グレー表示されます。*
		色温度	暖色 / 標準 / 冷色
		カラー	赤バイアス / 緑ゲイン / 青ゲイン / 赤バイアス / 緑バイアス / 青バイアス / 青緑(シアン) / 赤紫(マジェンタ) / 黄 / リセット
		色空間	自動 / RGB / YUV
			自動 / RGB (0-255) / RGB (16-235) / YUV
		入力ソース	VGA / S-Video / ビデオ / HDMI / Flash Drive*/ Network Display* / USB Display* **For Short Throw models only*
		終了	
ディスプレー	フォーマット		4:3 / 16:9-I / 16:9-II or 16:10 (ZW210ST) / LBX (ZW210ST) / ネーティブ / 自動
	エッジマスク		0~10
	ズーム		-5~25

Main Menu	Sub Menu		Settings
ディスプレー	垂直キーストン		-40~40
	3D	3D モード	オフ / DLP リンク / IR
		[3] 3D同期反転	オン / オフ
設定	言語		English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Português / Svenska / Nederlands / Norsk/Dansk / Polski / Русский / Suomi / ελληνικά / Magyar / Čeština / فارسی / عربي / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / ไทย / Türkçe / Tiếng Việt
	投射方式		
	メニュー位置		
	[2] 画面のタイプ		16:10 / 16:9 (WXGA only)
	Network	Network State	Read-Only
		DHCP	Read-Only
		IP Address	Read-Only
		Subnet Mask	Read-Only
		Gateway	Read-Only
		DNS	Read-Only
		Apply	はい / いいえ
		終了	
	[4] 信号	自動	オン / オフ
		位相	0~31
		周波数	-5~5
		水平位置	-5~5
		垂直位置	-5~5
		終了	
	セキュリティ	セキュリティ	オン / オフ
		パスワード変更	
		終了	

設定の調節

Main Menu	Sub Menu		Settings
設定	プロジェクター ID		0~99
	消音		オン / オフ
	音量		0~100
	詳細	スタート画面	Optoma / ニュートラル / ユーザー
		ロゴキャプチャ	
		Closed Captioning	オフ / CC1 / CC2
オプション	ソースロック		オン / オフ
	高度		オン / オフ
	信号捜索情報隠し		オン / オフ
	キーパッド ロック		オン / オフ
	背景色		黒 / 赤 / 青 / 緑
	テストパターン		なし / グリッド
	詳細	電源探知オート パワー オン	オン / オフ
		自動電源オフ(分)	0~100
		Security Timer	0~100
		Power Mode (Standby)	ECO / アクティブ
		ブライトモード	明るい / ECO / Eco+
	終了		
	リセット		

- スクリーンメニュー(OSD)の内容はプロジェクターのモデルと映像信号のタイプにより異なります。
- (1) 「カラー」と「色合い」は、ビデオモードでのみサポートされます。
- (2) 「スクリーンタイプ」設定に応じて16:9または16:10 (WXGAモデルのみ利用可能)。
- (3) 「3D同期反転」を使用できるのは、3Dが有効な場合だけです。
- (4) 「信号」は、アナログVGA (RGB)信号でのみサポートされます。
- (5) 「フラッシュドライブ」、「ネットワーク・ディスプレイ」および「USBディスプレイ」は、短距離投影モデルでのみ有効です。

イメージ

ディスプレーモード

プロジェクターには、いろいろな種類の画像を対象とした工場プリセット値が備わっています。ご使用のソースのための適切な表示モードを選んでください。

- プレゼンテーション：PC入力に適した良好なカラーおよび輝度。
- ブライト：PC入力に適した最大輝度。
- ムービー：ホームシアター用。
- sRGB：標準化された正確なカラー。
- 黒板：緑の黒板に投影するとき、このモードを選ぶとカラー設定が最適化されます。
- クラスルーム：クラスルーム内での投射に推奨されます。
- ユーザー：ユーザーの設定。
- 3D：3Dモードが有効にされたときの推奨設定。3Dでのユーザー設定は、このモードで将来の使用のために保存されます。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。

- ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶を押すとコントラストが上がります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押すとシャープネスが下がります。
- ▶を押すとシャープネスが強くなります。

カラー

画像の色を調節します。

- ◀を押すと画像の色合いが薄くなります。
- ▶を押すと画像の色合いが濃くなります。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶を押すと画像の赤が強くなります。

NOTE

❖ 「彩度」と「色合い」機能は、ビデオ モードでのみサポートされます。

イメージ | 詳細

γ

これにより、入力を対象として最高画質を表現するために微調整されたガンマテーブルを選択できます。

- フィルム：ホームシアター用。
- ビデオ: ビデオまたは TV ソース用。
- グラフィック: イメージ ソース用。
- PC: PC またはコンピュータ ソース用。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとシステム レベルのエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の、鮮やかなカラーを実現します。 範囲は「0」から「10」の間です。 画像をより強化したい場合は、最大設定方向に調整します。 画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

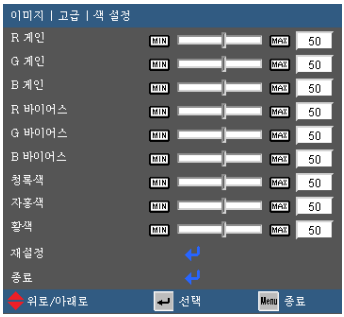
色温度

画像は低い温度に設定されると、より冷たく見え、暖かい温度に設定されると、より暖かく見えます。

カラー

↵を選ぶとカラー設定メニューが表示され、▲または▼で項目を選択します。

- 赤/緑/青/シアン/マジェンダ/黄色：◀または▶を使用して、赤、緑、青、シアン、マジェンダ、黄色を選択します。
- リセット：カラー調節の工場出荷時設定に戻るには↵を選びます。



色空間

適切なカラーマトリックスのタイプを選びます。

- AUTO (自動)：自動的に、カラーマトリックスを選びます。
- RGB：RGBに対応するカラーマトリックスを選びます。
- YUV：YCbCrまたはYPbPrに対応するカラーマトリックスを選びます。

入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。↵を押して、サブメニューに入り、必要なソースを選択します。**入力する**を押すと選択が確定されます。 プロジェクターは、非選択状態の入力を検索しません。

ディスプレー

フォーマット

ここで、好みのアスペクト比を選択します。

XGA

- 4:3: このフォーマットは、4 x 3入力ソース用です。
- 16:9-I: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16 x 9入力用です。(576i/p)
- 16:9-II: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような16 x 9入力用です。(480i/p)
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- 自動: 適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。
- 入力が4:3の場合、イメージは4:3で表示されます。入力が上記16:9の場合、イメージは16:9-Iで表示されます。

WXGA

- 4:3：このフォーマットは、4 x 3入力ソース用です。
- 16:9：ワイドスクリーンテレビのために用意される高画

質のHDTVやDVDのような16 x 9入力用です。

- 16:10：この格式はワイドスクリーンのノートパソコンなど、16 x 10比の映像入力用です。
- LBX：このフォーマットは、16 x 9以外のレターボックスソース、および、フル解像度を使って2.35:1のアスペクト比を表示するために外部16 x 9レンズをお使いのユーザー向けです。
- ネーティブ：このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- 自動：適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。

❖ 「スクリーンタイプ」設定に応じて16:9または16:10。この設定は、WXGAモデルのみ利用可能です。

16:10 スクリーン	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1066 x 800 中央				
16:10	1280 x 800 中央				
LBX	1280 x 960にスケーリングし、次に画像を中央に1280 x 800で表示				
ネーティブ	1:1中央マッピング		1:1マッピングディスプレイ1280 x 800	1280 x 720 中央表示	1:1 中央マッピング

16:9 スクリーン	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	960 x 720 中央				
16:9	1280 x 720 中央				
LBX	1280 x 960にスケーリングし、次に画像を中央に1280 x 720で表示				
ネーティブ	1:1中央マッピング		1:1マッピングディスプレイ1280 x 720	1280 x 720 中央表示	1:1 中央マッピング

エッジマスク

- ◀を押すと、画像のエッジマスクが減少します。
- ▶を押すと、画像のエッジマスクが増加します。

ズーム

- ◀を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ▶を押すとスクリーンに投射されたイメージが拡大します。

水平イメージシフト

投射された画像位置を水平に移動します。

垂直イメージシフト

投射された画像位置を垂直に移動します。

垂直キーストン

◀または▶を押して画像の垂直のゆがみを調整します。 画像が台形に見える場合、このオプションにより画像を長方形にすることができます。

ディスプレー | 3D

- 入力ソースが120 Hzのとき、3Dモードが自動的に有効になります。
- 「3D同期反転」を使用できるのは、3Dが有効な場合だけです。
- 3Dビューには、互換性のある3Dソース、3Dコンテンツおよびアクティブシャッターグラスが必要です。

3D

この機能で3D表示を有効にします。

- オフ：3D表示を無効にします。
- DLP-Link：DLPモードでの3D表示を有効にします。
- IR：「IR」を選ぶと、IRベースの3D画像のために最適化された設定が使用されます。

3D同期反転

- 「オン」を選ぶと、左右のフレームコンテンツが逆転します。
- 「オフ」を選ぶと、デフォルトのフレームコンテンツが表示されます。

設定

言語

OSDメニュー言語を選びます。◀または▶を押してサブメニューを表示させてから、▲または▼を押して使用する言語を選びます。「Enter」を押すと、設定が完了します。

投射方式

► 正面-卓上

これは、デフォルト設定です。 画像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。

► 裏面-卓上

選択されると、画像を左右逆向きに表示します。

► 正面-天吊り

NOTE

❖ 裏面-卓上および裏面-天吊りは、透明なスクリーンを使用する際に使用できます。

選択されると、画像を上下逆向きに表示します。

► 裏面-天吊り

選択されると、画像を上下･左右逆向きに表示します。

❖ 「画面のタイプ」はWXGAのみです。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

画面のタイプ

スクリーンのタイプを選びます：16:10または16:9。

ネットワーク

49ページの「セットアップ | ネットワーク」をご参照ください。

信号

46ページの「セットアップ | 映像信号」をご参照ください。

セキュリティ

47ページの「セットアップ | セキュリティ」をご参照ください。

プロジェクターID

この機能を使用して、プロジェクターのID定義を設定します。このIDは、複数のプロジェクターがRS-232経由で接続されるとき、個々のプロジェクターを特定して制御するのに用いられます。プロジェクターIDは、0から99の範囲です。RS232コマンドの全一覧は、55ページ「RS232プロトコル機能リスト」をご参照ください。

消音

► 「オン」を選ぶと消音が有効となります。

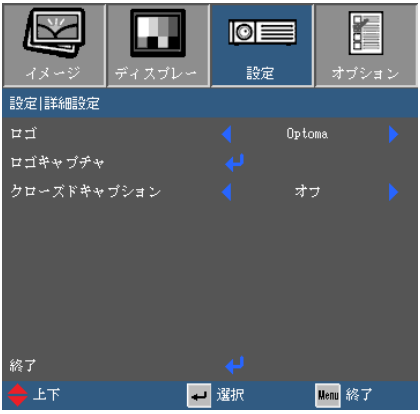
► 「オフ」を選ぶと消音が無効となります。

音量

► ◀を押すと音量が小さくなります。

► ▶を押すと音量が大きくなります。

設定 | 詳細設定



ロゴ

この機能を使用して、希望される起動画面を設定します。変更されると、プロジェクターが次回オンにされるとき、設定は有効になります。

- Optoma：デフォルトの起動画面です。
- ユーザー：「ロゴキャプチャ」機能で保存された画像を使用します。

ロゴキャプチャ

↵を選ぶと、現在スクリーンに表示される画像をキャプチャし、「ユーザー」ロゴに画像を保存します。

クローズドキャプション

この機能を使用して字幕を有効または無効にします。この機能を使用するには、関連したソースが字幕対応である必要があります。

- オフ：[オフ]を選択するとクローズドキャプションがオフになります。
- CC1：CC1言語：アメリカ英語。
- CC2：CC2言語(ユーザーの TV チャンネルによって異なります)：スペイン語、フランス語、ポルトガル語、ドイツ語、デンマーク語。

NOTE

- ロゴのキャプチャを成功させるには、スクリーン上の画像がプロジェクターのネイティブ解像度を上回らないことを確認してください。(XGA：1024x768またはWXGA：1280x 800)。

設定 | 信号

❖ [信号] は、アナログVGA (RGB) 信号でのみサポートされます。

自動

信号を自動的に選択します。この機能を使用すると、フェーズおよび周波数の項目はグレー表示されます。信号が自動でないならば、フェーズおよび周波数の項目はユーザーによる手動設定が可能になります。信号の設定は、プロジェクターが次回オンになるとき、有効となります。

位相

ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

周波数

ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。この機能は、画像が垂直にちらつく場合にのみ使用します。

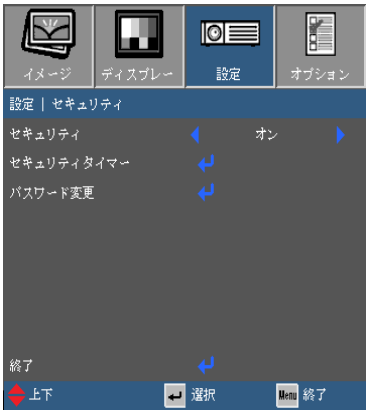
水平位置

- ◀を押すとイメージが左に移動します。
- ▶を押すとイメージが右に移動します。

垂直位置

- ◀を押すとイメージが下に移動します。
- ▶を押すとイメージが上に移動します。

設定 |セキュリティ



Security

- オン：「オン」を選ぶと、プロジェクターをオンにするときセキュリティ認証の確認画面が表示されます。
- オフ：「オフ」を選ぶと、パスワード認証なしにプロジェクターをオンにできます。

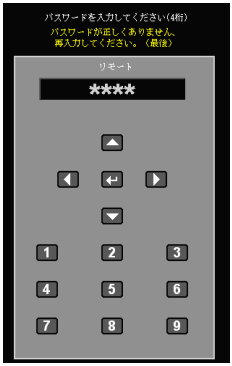
セキュリティタイマー

この機能を使用して、プロジェクターを使用できる時間(月/日/時刻)を設定します。指定された時間が過ぎると、パスワードの入力が再び求められます。

パスワード変更

デフォルトのパスワードは、「1234」です。パスワードを変更するには、↵を選んで「セキュリティ・コードの入力」画面を表示させます。

❖ パスワードは、4桁でなければなりません。

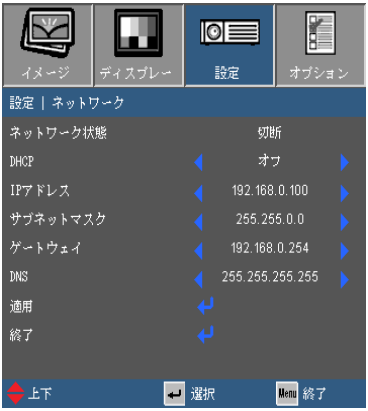


1. リモコンの数字ボタンを使って現在のパスワードを入力してから、**Enter**を押します。
2. 希望するパスワードを入力してから**Enter**を押します。
3. パスワードを再度入力して確認します。
4. **Enter**を押します。「セキュリティ・コードが正しく変更されました」というメッセージが表示されます。「セキュリティ・コード」画面は数秒後自動的に消えます。

- 誤ったパスワードが3回入力されると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。
- パスワードを忘れた場合、対応のために地元の営業所にご連絡ください。

設定 | ネットワーク

(短距離投影モデルのみ)



ネットワーク状態

ネットワーク接続状態を表示します。接続されると、ウェブブラウザ経由でプロジェクターへのアクセス・制御が可能となります。

DHCP

この機能を使用して、プロジェクターのネットワーク接続を設定します。

- オン：DHCPサーバーからIPアドレスを自動的にプロジェクターに割り当てます。
- オフ：手動でIPアドレスを割り当てます。

IP アドレス

DHCPが「オフ」であるならば、この機能を使用してIPアドレスを入力します。◀または▶を押して入力欄の間を移動し、▲または▼を押して値を調節します。

サブネットマスク

DHCPが「オフ」であるならば、サブネットマスク番号を入力します。◀または▶を押して入力欄の間を移動し、▲または▼を押して値を調節します。

ゲートウェイ

DHCPが「オフ」であるならば、ネットワーク接続のデフォルトゲートウェイを入力します。◀または▶を押して入力欄

NOTE

- IP設定が変更されると、マルチメディアモジュール(USB表示、ネットワーク表示およびフラッシュドライブ機能を含む)が再起動されます。このプロセスには60~90秒かかります。

の間を移動し、▲または▼を押して値を調節します。

DNS

DHCPが「オフ」であるならば、DNS番号を入力します。◀または▶を押して入力欄の間を移動し、▲または▼を押して値を調節します。

適用

「↵」を押し、[はい] を選択して選択を適用します。

❖ 詳細機能マニュアルの「ウェブブラウザを使用してプロジェクターを制御する方法」をご参照ください。

オプション

ソースロック

- オン：プロジェクターは、現在のソースにロックされます。プロジェクターがオンにされるとき、たとえ現在のソースがオフになっていても、プロジェクターは他の入力ソースを自動検出しません。
- オフ：有効にされると、プロジェクターは自動的に関連した信号を検出します。

❖ 防塵フィルタをインストールした場合、高標高モードをオンにする必要があります。防塵フィルタはオプションで、場所によっては不要です。

高度

高標高が「オン」であるとき、ファンはより速く回転します。この機能は、空気がより希薄な高標高地域に有用です。

信号捜索情報隠し

- オン：「オン」を選ぶと、状態メッセージが非表示になります。
- オフ：「オフ」を選ぶと、状態メッセージが表示されます。

キーパッド ロック

キーパッド・ロック機能が「オン」の場合、コントロールパネルはロックされます。それでも、プロジェクターはリモコンで操作できます。コントロールパネルを使用するには、キーパッド・ロックを「オフ」にしてください。

❖ コントロールパネルの↵を5秒間押し続けると、キーパッド・ロックがオフになります。

背景色

この機能を使って利用可能な信号が存在しないときに表示される背景色を選びます。

テストパターン

この機能を使用すると、テストパターンが実行されます。

- なし：テストパターンを無効にします。
- グリッド：グリッドテストパターンを実行します。

リセット

この機能を使用すると、プロジェクターの設定は工場出荷時設定にリセットされます。

オプション | 詳細

電源探知オートパワーオン

「オン」を選ぶと、ダイレクト電源モードが有効になります。一旦ACアダプタがコンセントに接続されると、プロジェクターは「⏻」キーを押さなくても自動的にオンになります。

自動電源オフ(分)

この機能を使用すると、ソース信号が入力されないとき、自動的にプロジェクターをオフにする秒読みタイマー(数分間)が設定されます。

スリープ タイマー(分)

この機能を使用すると、自動的にプロジェクターをオフにする秒読みタイマーが設定されます。タイマーが一旦起動すると、プロジェクターは入力信号の有無に拘わらず、自動的にオフになります。

電源モード (スタンバイ)

- ECO：「ECO」を選ぶと、消費電力 > 0.5 Wに抑えます。
- アクティブ：「アクティブ」を選ぶと、通常のスタンバイモードに戻ります。

輝度モード

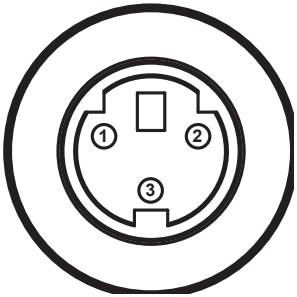
- 高輝度：「BRIGHT」を選択すると輝度が増します。
- ECO:「ECO」を選ぶと、プロジェクターランプの輝度が下がり、低動作音で消費電力も小さくなります。
- Eco⁺：「Eco⁺」を選ぶと、表示された画像に適したコントラスト比が選択されます。

NOTE

❖ 電源モード(スタンバイ)がエコ(>0.5W)に設定されると、プロジェクターがスタンバイモードに入ると、VGA出力、オーディオ信号中継およびRJ45は無効となります。

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

RS232ピン割り当て



Pin 番号	仕様 (プロジェクター側から)
1	TXD
2	RXD
3	GND

❖ RS232シェルはアースされています。

RS232プロトコル機能リスト

1. 全てのASCIIコマンドの後には<CR>が追加されます。
2. 0DはHEXコードで、ASCIIコードの<CR>を意味します。

Baud Rate : 9600
Data Bits: 8
Parity: None
Stop Bits: 1
Flow Control : None
UART16550 FIFO: Disable
Projector Return (Pass): P
Projector Return (Fail): F

XX=01-99, projector's ID,
XX=00 is for all projectors

SEND to projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Description
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 0D	Power ON	
~XX00 0	7E 30 30 30 30 20 30 0D	Power OFF	(0/2 for backward compatible)
~XX00 1 ~nnnn	7E 30 30 30 30 20 31 20 a 0D	Power ON with Password	~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D	Re-sync	
~XX02 1	7E 30 30 30 32 20 31 0D	AV Mute On	
~XX02 0	7E 30 30 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX03 1	7E 30 30 30 33 20 31 0D	Mute On	
~XX03 0	7E 30 30 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX04 1	7E 30 30 30 34 20 31 0D	Freeze	
~XX04 0	7E 30 30 30 34 20 30 0D	Unfreeze	(0/2 for backward compatible)
~XX05 1	7E 30 30 30 35 20 31 0D	Zoom Plus	
~XX06 1	7E 30 30 30 36 20 31 0D	Zoom Minus	
~XX07 1	7E 30 30 30 37 20 31 0D	Up (Pan under zoom)	
~XX08 1	7E 30 30 30 38 20 31 0D	Down (Pan under zoom)	
~XX09 1	7E 30 30 30 39 20 31 0D	Left (Pan under zoom)	
~XX10 1	7E 30 30 31 30 20 31 0D	Right (Pan under zoom)	
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 0D	Direct Soirce	HDMI
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 0D		VGA
~XX12 8	7E 30 30 31 32 20 38 0D		VGA Component
~XX12 9	7E 30 30 31 32 20 39 0D		S-Video
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 0D		Video
~XX12 17	7E 30 30 31 32 20 31 37 0D		Flash Drive
~XX12 18	7E 30 30 31 32 20 31 38 0D		Network Display
~XX12 19	7E 30 30 31 32 20 31 39 0D		USB Display
Display Mode			
~XX20 0	7E 30 30 32 30 20 30 0D		None
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 0D		Presentation
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 0D		Bright
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 0D		Movie
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 0D		sRGB
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 0D		User
~XX20 7	7E 30 30 32 30 20 37 0D		Blackboard
~XX20 8	7E 30 30 32 30 20 38 0D		Classroom
~XX20 9	7E 30 30 32 30 20 39 0D		3D
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D	Brightness	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a 0D	Contrast	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX23 n	7E 30 30 32 33 20 a 0D	Sharpness	n = 1 (a=31) ~ 15 (a=31 35)
~XX24 n	7E 30 30 32 34 20 a 0D	Color Settings	Red Gain n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX25 n	7E 30 30 32 35 20 a 0D		Green Gain n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX26 n	7E 30 30 32 36 20 a 0D		Blue Gain n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX27 n	7E 30 30 32 37 20 a 0D		Red Bias n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX28 n	7E 30 30 32 38 20 a 0D		Green Bias n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)

~XX29 n	7E 30 30 32 39 20 a 0D		Blue Bias	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX30 n	7E 30 30 33 30 20 a 0D		Cyan	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX31 n	7E 30 30 33 31 20 a 0D		Yellow	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX32 n	7E 30 30 33 32 20 a 0D		Magenta	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX33 1	7E 30 30 33 33 20 31 0D		Reset	
~XX34 n	7E 30 30 33 34 20 a 0D	BrilliantColor™		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX35 1	7E 30 30 33 35 20 31 0D	Degamma	Film	
~XX35 2	7E 30 30 33 35 20 32 0D		Video	
~XX35 3	7E 30 30 33 35 20 33 0D		Graphics	
~XX35 4	7E 30 30 33 35 20 34 0D		PC	
~XX36 1	7E 30 30 33 36 20 31 0D	Color Temp.	Warm	
~XX36 2	7E 30 30 33 36 20 32 0D		Medium	
~XX36 3	7E 30 30 33 36 20 33 0D		Cold	
~XX37 1	7E 30 30 33 37 20 31 0D	Color Space	Auto	
~XX37 2	7E 30 30 33 37 20 32 0D		RGB	
~XX37 3	7E 30 30 33 37 20 33 0D		YUV	
~XX45 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Color (Saturation)		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX44 n	7E 30 30 34 35 20 a 0D	Tint		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX39 2	7E 30 30 33 39 20 32 0D	Input Source Filter	DVI-D	
~XX39 5	7E 30 30 33 39 20 35 0D		VGA	
~XX39 8	7E 30 30 33 39 20 38 0D		VGA Component	
~XX39 9	7E 30 30 33 39 20 39 0D		S-Video	
~XX39 10	7E 30 30 33 39 20 31 30 0D		Video	
~XX39 1	7E 30 30 33 39 20 31 0D		HDMI	
~XX39 12	7E 30 30 33 39 20 31 32 0D		Flah Drive	
~XX39 13	7E 30 30 33 39 20 31 33 0D		Network Dlisplay	
~XX39 14	7E 30 30 33 39 20 31 34 0D		USB Display	
~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 0D	Format	4:3	
~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 0D		16:9-I	
~XX60 3	7E 30 30 36 30 20 33 0D		16:9-II/16:10(ZW210ST)	
~XX60 5	7E 30 30 36 30 20 35 0D		LBX	
~XX60 6	7E 30 30 36 30 20 36 0D		Native	
~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 37 0D		Auto	
~XX61 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D	Edge mask		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX62 n	7E 30 30 36 32 20 a 0D	Zoom	n = -5 (a=2D 35) ~ 25 (a=32 35)	
~XX63 n	7E 30 30 36 33 20 a 0D	H Image Shift	n = -50 (a=2D 35 30) ~ +50 (a=35 30)	
~XX64 n	7E 30 30 36 34 20 a 0D	V Image Shift	n = -50 (a=2D 35 30) ~ +50 (a=35 30)	
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a 0D	V Keystone	n = -40 (a=2D 34 30) ~ 40 (a=34 30)	
~XX230 1	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	DLP-Link	
~XX230 3	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D		IR	
~XX230 0/2	7E 30 30 32 33 30 20 30 0D		Off	
~XX231 1	7E 30 30 32 33 31 20 31 0D	3D Sync Invert	On	
~XX231 0	7E 30 30 32 33 31 20 30 0D	3D Sync Invert	Off	
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 0D	Language	English	
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 0D		German	
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 0D		French	
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 0D		Italian	
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 0D		Spanish	
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 0D		Portuguese	
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 0D		Polish	
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 0D		Dutch	
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 0D		Swedish	
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0D		Norwegian/Danish	
~XX70 11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0D		Finnish	
~XX70 12	7E 30 30 37 30 20 31 32 0D		Greek	
~XX70 13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0D		Traditional Chinese	
~XX70 14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0D		Simplified Chinese	
~XX70 15	7E 30 30 37 30 20 31 35 0D		Japanese	
~XX70 16	7E 30 30 37 30 20 31 36 0D		Korean	
~XX70 17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0D		Russian	
~XX70 18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0D		Hungarian	
~XX70 19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0D		Czechoslovak	
~XX70 20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0D		Arabic	
~XX70 21	7E 30 30 37 30 20 32 31 0D		Thai	
~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		Turkish	
~XX70 23	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Farsi	
~XX70 25	7E 30 30 37 30 20 32 35 0D		Vietnamese	
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	Projection	Front-Desktop	
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		Rear-Desktop	
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		Front-Ceiling	
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		Rear-Ceiling	
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	Menu Location	Top Left	
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		Top Right	
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		Centre	
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		Bottom Left	
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		Bottom Right	

(ZW210ST only)

~XX90 1	7E 30 30 39 31 20 31 0D	Screen Type	16:10
~XX90 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D		16:9

~XX73 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D	Signal	Frequency n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By signal
~XX91 n	7E 30 30 39 31 20 a 0D		Automatic n = 0 disable; n = 1 enable
~XX74 n	7E 30 30 37 34 20 a 0D		Phase n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31) By signal
~XX75 n	7E 30 30 37 35 20 a 0D		H. Position n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX76 n	7E 30 30 37 36 20 a 0D		V. Position n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing

~XX77 n	7E 30 30 37 37 20 aabbcc 0D Month/Day/Hour		Security Security Timer n = mm/dd/hh mm= 00 (aa=30 30) ~ 12 (aa=31 32) dd = 00 (bb=30 30) ~ 30 (bb=33 30) hh= 00 (cc=30 30) ~ 24 (cc=32 34)
~XX78 1	7E 30 30 37 38 20 31 0D		Security Settings Enable
~XX78 0	7E 30 30 37 38 20 32 0D		Disable(0/2 for backward compatible)

~XX79 n	7E 30 30 37 39 20 a 0D	Projector ID	n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)

~XX80 1	7E 30 30 38 30 20 31 0D	Mute	On
~XX80 0	7E 30 30 38 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX81 n	7E 30 30 38 31 20 a 0D	Volume	n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)

~XX82 1	7E 30 30 38 32 20 31 0D	Logo	Optoma
~XX82 2	7E 30 30 38 32 20 32 0D		User
~XX82 3	7E 30 30 38 32 20 33 0D		Neutral
~XX83 1	7E 30 30 38 33 20 31 0D		Logo Capture (Option)

~XX88 0	7E 30 30 38 38 20 30 0D	Closed Captioning	Off
~XX88 1	7E 30 30 38 38 20 31 0D		cc1
~XX88 2	7E 30 30 38 38 20 32 0D		cc2

~XX100 1	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D	Source Lock	On
~XX100 0	7E 30 30 31 30 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX100 3	7E 30 30 31 30 30 20 33 0D	Next Source	
~XX101 1	7E 30 30 31 30 31 20 31 0D	High Altitude	On
~XX101 0	7E 30 30 31 30 31 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX102 1	7E 30 30 31 30 32 20 31 0D	Information Hide	On
~XX102 0	7E 30 30 31 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX103 1	7E 30 30 31 30 33 20 31 0D	Keypad Lock	On
~XX103 0	7E 30 30 31 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)

~XX104 1	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D	Background Color	Blue
~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 32 0D		Black
~XX104 3	7E 30 30 31 30 34 20 33 0D		Red
~XX104 4	7E 30 30 31 30 34 20 34 0D		Green
~XX104 5	7E 30 30 31 30 34 20 35 0D		White

~XX105 1	7E 30 30 31 30 35 20 31 0D	Advanced	Direct Power On On
~XX105 0	7E 30 30 31 30 35 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D		Auto Power Off (min) n = 0 (a=30) ~ 180 (a=31 38 30) step:5
~XX107 n	7E 30 30 31 30 37 20 a 0D		Sleep Timer (min) n = 0 (a=30) ~ 995 (a=39 39 39) step:5
~XX114 1	7E 30 30 31 31 34 20 31 0D		Eco Standby(1W) On
~XX114 0	7E 30 30 31 31 34 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)

~XX110 1	7E 30 30 31 31 30 20 31 0D		Brightness Mode Bright
~XX110 0	7E 30 30 31 31 30 20 30 0D		Eco. (0/2 for backward compatible)
~XX110 3	7E 30 30 31 31 30 20 33 0D		Eco+

~XX112 1	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D	Reset	Yes

~XX99 1	7E 30 30 39 39 20 31 0D	RS232 Alert Reset	Reset System Alert
~XX210ST n	7E 30 30 32 30 30 20 n 0D		Display message on the OSD

n: 1-30 characters

SEND to emulate Remote

~XX140 1	7E 30 30 31 34 30 20 31 0D	Power
~XX140 10	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D	Up/Page +
~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0D	Left/Source
~XX140 12	7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0D	Enter (for projection MENU)
~XX140 13	7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D	Right/Re-SYNC
~XX140 14	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D	Down/Page -
~XX140 15	7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D	Keystone +
~XX140 16	7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D	Keystone -
~XX140 17	7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D	Volume -
~XX140 18	7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0D	Volume +
~XX140 19	7E 30 30 31 34 30 20 31 39 0D	Brightness (1)
~XX140 21	7E 30 30 31 34 30 20 32 31 0D	3D(3)
~XX140 20	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D	Menu (2)
~XX140 22	7E 30 30 31 34 30 20 32 32 0D	Contrast (4)
~XX140 23	7E 30 30 31 34 30 20 32 33 0D	Freeze (5)
~XX140 24	7E 30 30 31 34 30 20 32 34 0D	AV Mute (6)
~XX140 25	7E 30 30 31 34 30 20 32 35 0D	S-Video (7)
~XX140 26	7E 30 30 31 34 30 20 32 36 0D	VGA (8)
~XX140 27	7E 30 30 31 34 30 20 32 37 0D	Video (9)

SEND from projector automatically

---

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
when Standby/Warming/Cooling/Out of Range/Light fail/ Standby/Warming/Cooling/Out of Range/Light fail/ Fan Lock/Over Temperature/Cover Open			INFOn Fan Lock/Over Temperature/Cover Open	n : 0/1/2/3/4/6/7/8/9 =

READ from projector

---

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands	OKn	n : 0/1/2/3/4/13/14/15 = None/VGA/S-Video/Video/HDMI/Flash drive/Network Display/USB Display
~XX122 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Sofware Version	OKdddd	dddd: FW version
~XX123 1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	OKn	n : 0/1/2/3/4/5/7/8/9/ None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/User/Blackboard/Classroom/3D
~XX124 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Power State	OKn	n : 0/1 = Off/On
~XX125 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Brightness	OKn	
~XX126 1	7E 30 30 31 32 36 20 31 0D	Contrast	OKn	
~XX127 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Aspect Ratio	OKn	(ZW210ST) n: 0/1/2/3/4 = 4:3/16:9 or 16:10 */LBX/Native/AUTO (ZX210ST) n: 0/1/2/3/4 = 4:3/16:9-I/16:9-II/Native/AUTO*16:9 or 16:10 depend on Screen Type setting
~XX128 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Color Temperature	OKn	n : 0/1/2 = Warm/Medium/Cold
~XX129 1	7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Projection Mode	OKn	n : 0/1/2/3 = Front-Desktop/ Rear-Desktop/ Front-Ceiling/ Rear-Ceiling
~XX150 1	7E 30 30 31 35 30 20 31 0D	Information	OKabbbbccdddde	a : 0/1 = Off/On bbbbb: Light source Hour cc: source 00/01/02/03/04 = None/VGA1/S-Video/Video/HDMI dddd: FW version e : Display mode : 0/1/2/3/4/5/7/8/9 = None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/User/
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model name	OKn	n:1/2 =ZX210ST/ZW210ST
~XX108 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Light Source Hours	OKbbbbb	bbbbb: Light Source Hour

*When Power mode is Eco, the command of Information(~XX150 1) will only return OK000000000000 due to MCU memory limitation.
*The command for “Flash Drive”, “Network Display” and USB Display” for Short Throw Models only.

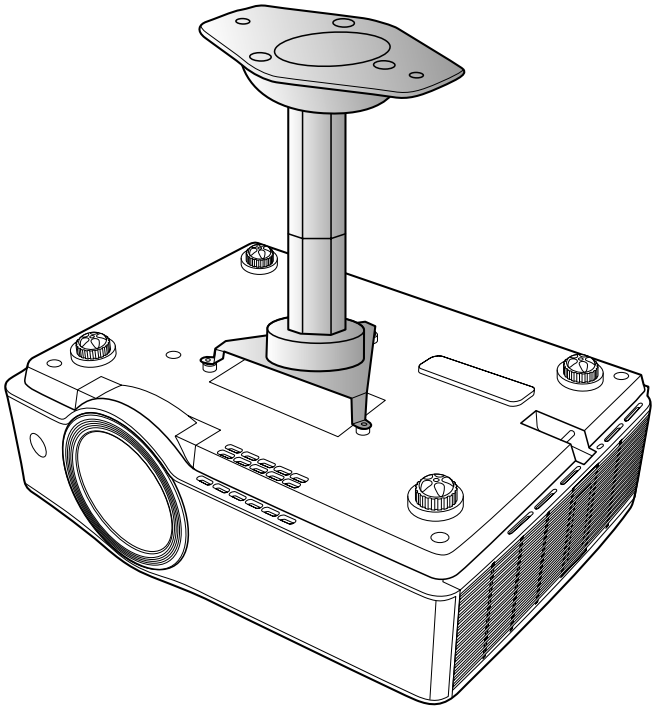
シーリングマウントのインストール

1. プロジェクターを裏返して平らに置きます。
2. 3つの取り付け穴を直線配置し、3本のシーリングマウントネジを使ってマウントをプロジェクターに固定します。

警告：
1. ご使用のプロジェクターへの損害を防止するため、Optomaシーリングマウントキットまたはメーカー公認の類似したキットのみをご使用ください。
2. プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
3. プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

NOTE

- プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



Optoma 社お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ
3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
services@optoma.com

カナダ
5630 Kennedy Road, Mississauga,
ON, L4Z 2A9, Canada
www.optoma.ca
905-361-2582
905-361-2581
canadacsragent@optoma.com

ヨーロッパ
42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
カスタマーサービスTEL:
+44 (0)1923 691865
+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

フランス
Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン
C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain
+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ
Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany
+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンジナビア
Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway
+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optoma.com.br

408-383-3700
408-383-3702
www.optoma.com.mx

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスエム
サポートセンター:0120-46-5040

info@osscreen.com
www.os-worldwide.com

台湾

5F., No. 108, Minchiuan Rd.
Shindian City,
Taipei Taiwan 231, R.O.C.
www.optoma.com.tw

+886-2-2218-2360
+886-2-2218-2313
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。 これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。 本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。 本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

クラス1レーザー製品

21 CFR 1040.10および2007年6月24日付けLaser Notice No. 50に従った多様性用の1040.11例外に準拠します。

IEC 60825-1:2007

重要!

レーザー使用のご注意

- このプロジェクターは、IEC 60825-1：2007準拠のクラス1レーザー装置です。
- このプロジェクターは、内蔵レーザーモジュールを備えています。分解または変更は非常に危険であり、決して試みてはいけません。
- ユーザーガイドによって指示されてないどんな操作または調整でも、レーザーの放射にさらされる危険性を生み出します。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。 操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラスBデジタル機器はカナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国に対する適合宣言

- EMC指令 2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。 汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。